

共用品推進機構だより 2016年03月18日(46)

## 目次

### (215) 共用品推進機構関連記事

- ▽「子どもの検索単語1位に点字発明者／星川安之」
- ▽「自閉症者の見え方紹介／アクセシブルデザイン推進協議会」
- ▽「『第13回千代田区福祉まつり』開催のお知らせ」
- ▽「ブログを更新しました！」

### (216) 製品関連記事

- ▽「結び目きれいに簡単着脱／青山商事」

### (217) 行政関連記事

- ▽「過疎地買い物弱者支援 児童館や既存店舗改修／秋田県」

### (218) 新刊紹介

- ▽『発達障害の早期発見・早期療育・親支援』
- ▽『発達障害のある聴覚障害児の実態と教育的対応に関する研究』
- ▽『大人のADHD臨床 アセスメントから治療まで』
- ▽『自閉症 新訂』

---

### (215) 共用品推進機構関連記事

#### ▼「子どもの検索単語1位に点字発明者／星川安之」

さまざまな情報が見られるインターネットは、自分が見たいページを検索する仕組みがあります。多くの人にお馴染みなのが、「ヤフー」という検索サイト。そのヤフーは、昨年検索されたキーワードで多かった言葉を発表しています。

ヤフーの子供向けページで最も検索された人の名前は、ルイ・ブライユというフランス人でした。この人の名前は、小学校の教科書に「点字」を発明した人として取り上げられています。

実はこの点字、今では皆さんの日常生活でも数多く見かけることができます。外に出ると、駅の階段に取り付けられている手すりの上と下に、エレベーターのボタンには階数が表示されています。また、ATM や自動券売機にも点字が表示され、目の不自由な人の生活を支えています。ただ残念なことに、時々その点字が逆さまに貼られていたりすることがあります。これは、点字を読めない人が貼っているためと思われます。そのため、今回のヤフーのように、小学生の頃から点字を知るとはとても意味のあることです。

是非、周りで点字があるものを探してみてください。

(エルダリープレス—シニアライフ版— 2016年3月号より抜粋)

#### ▼「自閉症者の見え方紹介／アクセシブルデザイン推進協議会」

障害がある人もない人も使いやすい「アクセシブルデザイン」の普及・開発などに関する情報提供を行うアクセシブルデザイン推進協議会は「アクセシブルデザインシンポジウム 2016」を都内で開催した。

東京大学先端科学技術研究センターの熊谷晋一郎准教授は自閉症スペクトラム患者について、「一言で自閉症と言っても十人十色」とし、当事者研究の重要性を示唆した。熊谷准教授によると自閉症スペクトラム患者は健常者とは異なったものの見方、捉え方をするという。熊谷准教授は今後臨床研究を行っていくとした。

公益社団法人日本包装技術協会の住本充弘技術参与は、世界の容器のデザインを紹介。アメリカで開発された「ポップパック」は、空気が入った部分を押すだけで握力が弱まった高齢者でも片手で簡単に開けられる包装技術などを参加者に動画で紹介した。

(高齢者住宅新聞 3月9日12面より抜粋)

#### ▼「『第13回千代田区福祉まつり』開催のお知らせ」

「第13回千代田区福祉まつり」が開催されます。場所は新しく建設された高齢者総合サポートセンターかがやきプラザのひだまりホールで機構も参加します。

日時：2016年3月19日（土）10:30～15:45

会場：

千代田区役所（千代田区九段下南 1-2-1）、

高齢者総合サポートセンターかがやきプラザ（千代田区九段下南 1-6-10）

【かがやきプラザは、内堀通りをはさんで千代田区役所と反対側にあります】

第 13 回千代田区福祉まつりチラシ-千代田区社会福祉協議会

[http://www.chiyoda-cosw.or.jp/wp/wp-](http://www.chiyoda-cosw.or.jp/wp/wp-content/uploads/sites/3/2016/02/13matsuri.pdf)

[content/uploads/sites/3/2016/02/13matsuri.pdf](http://www.chiyoda-cosw.or.jp/wp/wp-content/uploads/sites/3/2016/02/13matsuri.pdf)

千代田区社会福祉協議会

<http://www.chiyoda-cosw.or.jp/>

#### ▼「ブログを更新しました！」

- ・ 東京都内の小学校で共用品の授業を行いました
  - ・ 第 2 回ニーズ&アイデア フォーラム（NIF）に参加
  - ・ 特別支援教育専門研修講義
  - ・ 東京都千代田区立九段小学校で授業
  - ・ 自由学園「プレアカデミー」でサロン講座で講義
- 共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

---

#### （ 2 1 6 ） 製品関連記事

#### ▼「結び目きれいに簡単着脱／青山商事」

青山商事が 2 月に発売した「ワンタッチネクタイ」の発想の源は、暑い真夏に汗だくになって会社を回る就職活動中の大学生。屋外でもネクタイを締めたままの就活生を数多く見て「移動中は外せばよいのと思った」のがきっかけだ。

店舗に来た学生に疑問をぶつけると、多かったのは「ネクタイをいったん外すと、何度もきれいに結ぶ自信がない」との答え。そこで、ネクタイを結び慣れていない就活生でもきれいな結び目を保ったまま、ボタンで簡単に取り外しができる商品を考えて。

ワンタッチネクタイの結び目は 1 本ずつ手作業で作っている。結び目の中に

は形崩れを防ぐため、この商品向けに独自に開発したプラスチック製の芯を入れるなど細部にこだわった。

(日経MJ 3月位18日13面より抜粋)

---

## (217) 行政関連記事

### ▼「過疎地買い物弱者支援 児童館や既存店舗改修／秋田県」

人口減少で小売店が撤退するなどした地域の住民生活を支援するため、秋田県は買い物著しく不便な県内3地域に、食料品や日用品を販売する店を3月中に開設する。店舗は児童館や既存の商店などを改修し、商品は県内のスーパーなどから仕入れるが、運営は住民が担う。人口減で衰退が進む地域の生活インフラを維持する試みとして注目されそう。

店の名称は「お互いさまスーパー」で、五城目町浅見内地域と羽後町仙道地域、由利本荘市赤田地域に開設する。国の地方創生交付金を活用し、店舗開設に伴う施設改修や設備購入費を助成する。販売費や人件費などは運営主体である住民側に管理を任せる。

(日経MJ 3月18日9面より抜粋)

---

## (218) 新刊紹介

### ▼『発達障害の早期発見・早期療育・親支援』

発達障害の早期発見・早期療育・親支援はなぜ重要なのかを解説し、スクリーニングツールの効能と限界、早期発見をめぐる親の葛藤への支援、早期療育から学校教育への移行などを取り上げる。

編著：本田秀夫（ほんだ・ひでお）

著：本田秀夫（ほんだ・ひでお）ほか

発行：金子書房

本体価格：1300円（税別）

ISBN：978-4-7608-9545-8

▼『発達障害のある聴覚障害児の実態と教育的対応に関する研究』

発達障害のある聴覚障害児の実態を把握し、支援体制の現状や困難の特徴などを明らかにする。また、継続的支援による変容や、変化の現れにくい課題などを整理する。

著：大鹿綾（おおしか・あや）

発行：風間書房

本体価格：7000 円（税別）

ISBN：978-4-7599-2106-9

▼『大人の ADHD 臨床 アセスメントから治療まで』

不注意・多動性・衝動性を主症状とし、併存障害を引き起こすことも多い大人の ADHD（注意欠如・多動症）。その特徴の理解、治療の進め方について、診療の最前線に立つ専門家が今日の動向をふまえて解説する。

編著：中村和彦（なかむら・かずひこ）

著：中村和彦（なかむら・かずひこ）ほか

発行：金子書房

本体価格：2600 円（税別）

ISBN：978-4-7608-2173-0

▼『自閉症 新訂』

自閉症の子どもたちとともに歩んだ 50 年。村田自閉症臨床の原点ともいえる、精神科医の立場からの自閉症ガイドブックを復刊。自閉症とはなにか、どう働きかければよいのかを説く。

著：村田豊久（むらた・とよひさ）

発行：日本評論社

本体価格：1700 円（税別）

ISBN：978-4-535-80423-4

---

（編集後記）

共用品授業や講座で使用する「共用品教材セット」を整えてから 10 年が経過しました。この 10 年で共用品も随分と増えてきましたので、この活動に賛同

してくださる企業さんのご協力を頂きながら、少しずつ新しい共用品の追加を始めました。

「共用品教材セット」を使った授業等は、共用品を作ってきた人達の気持ちや共用品を作る必要性、これから必要になる工夫を考えるきっかけとして、とても分かりやすいツールの一つです。今あるものの充実を図ると共に、新しい発想を持って、また別のツールも考えたいと思っています。(森川美和)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>